

Styling Kit KG-06

フロントグリル No.MKG2500

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2丁目15番8号
TEL: 03-6458-7251 FAX: 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ「スタイリングキットKG-06」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける際の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。また、作業終了後には本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。

1. 本書に記載する説明にしたがって作業を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の加工・改造・分解および、車両の改造は行わないでください。
2. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者の監督下で作業可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ㈱発行の整備書を参照に作業を行ってください。
4. 下記に記す適合車種以外には絶対に取付けしないでください。
5. 製品の浮きや剥がれ防止のため、両面テープ接着時は十分に圧着してください。また、取付作業後24時間以内に洗車や雨天走行は絶対に行わないでください。
6. 製品装着後に360° ビュー・モニター・システム フロントカメラのエイミング調整が必要となる場合があります。

警告

本製品はミリ波レーダー(SBS/MRCC)およびAT誤発進抑制機能の作動保証をするものではありません。前走車の種類や状況、道路状況、天候状況、障害物の形状などによっては適切に作動しない場合があります。

ミリ波レーダー(SBS/MRCC)機能は、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の低減を目的としています。各機能には限界がありますので、過信せず、安全運転を心掛けてください。

警告

レーダーセンサーが誤作動し思わぬ事故につながる恐れがあるため、本製品を塗装したり、ステッカー(透明なものを含む)およびエンブレムなどを貼付けたりしないでください。

適合車種

CX-8 (KG系)全車 / CX-5 (KF系) 360° ビュー・モニター無車(360° ビュー・モニター付車には装着できません。)

構成部品

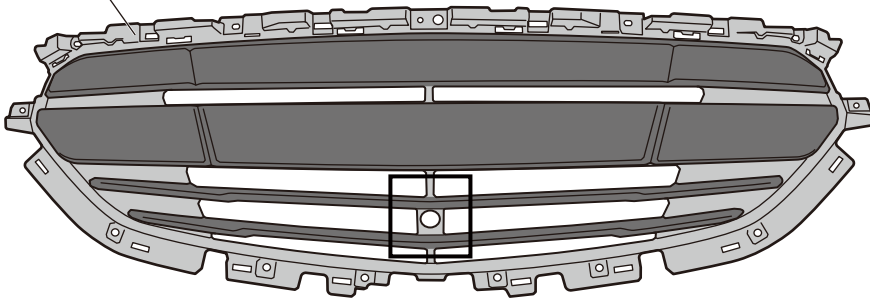
No.	部品名称	仕様	数量	No.	部品名称	仕様	数量
①	フロントグリル	ABS製 ピアノブラック・艶消し黒 塗装済	1	④	カメラブラケット		1
②	トラスボルト	M4 × 12mm	8	⑤	カメラカバー	ABS製 艶消し黒塗装済	1
③	フランジナット	M4	8				

装着手順

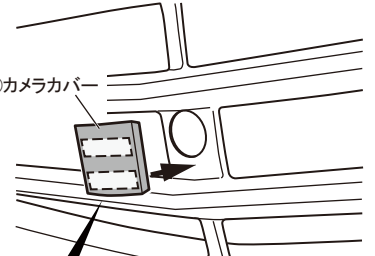
1. [360° ビューモニターカメラ無車のみ作業] 図1を参照し①フロントグリルに⑤カメラカバーを貼付します。
2. 車両からフロントバンパーを取外し、図2を参照しアッパーフェースを取外します。
アッパーフェースを取外す際はリベット6箇所を破壊し、純正ファスナー(6箇所)を取外します。取外した純正ビス、純正ファスナーは再使用します。
3. 図3を参照し、ラジエターグリルレインフォースメントからカメラステーとロケーターピンブラケットを取外します。取外した純正ビス、純正ファスナー、カメラステー下側2箇所の純正ビスは再使用します。
4. 図4を参照し、ラジエターグリルレインフォースメントからロアグリルモールディングを取外します。取外した純正ビスは再使用します。
5. 図5を参照し、ラジエターグリルレインフォースメントからグリルメッシュを取外します。
6. 図6を参照し、①フロントグリルをラジエターグリルレインフォースメントに取付けます。
7. 図7を参照し、ロアグリルモールディング、ロケーターピンブラケット、アッパーフェースをラジエターグリルレインフォースメントに復元します。
アッパーフェースは、手順1で取外した純正ファスナーと、②トラスボルトと③フランジナットを使用して復元します。
8. 図8-1を参照し、純正カメラステーを切除加工した後、図8-2を参照し、②トラスボルトと③フランジナットを使用して④カメラブラケットを取付けます。
9. 図9を参照し、①フロントグリル裏面の両面テープ離型紙を剥がし、純正ビスを使用してカメラステー下側2箇所をラジエターグリルレインフォースメントに仮留めし、カメラの位置を確認した後、両面テープを④カメラブラケットに圧着し、純正ネジを本締めします。
10. カメラの配線を繋ぎ、フロントバンパーを車両に復元します。
11. カメラが正常に作動することを確認し、作業完了です。

図1 ⑤カメラカバー取付け

①フロントグリル



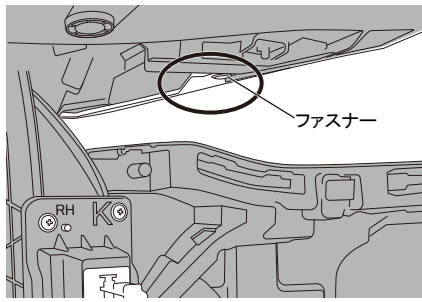
⑤カメラカバー



※裏側の両面テープ離型紙を剥がし、
①フロントグリル(表側)に貼付けます。

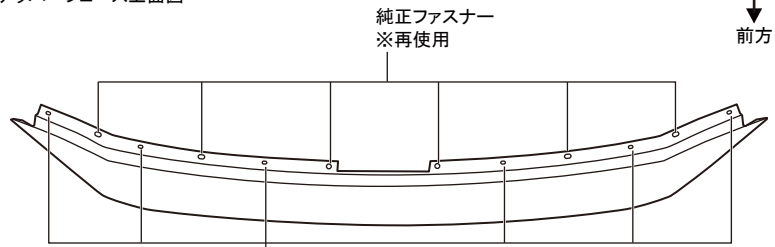
図2 アッパーフェースの取外し

フロントバンパー裏側ヘッドライト上のファスナーを取外します。※図は右側です。左右同作業。



ファスナー

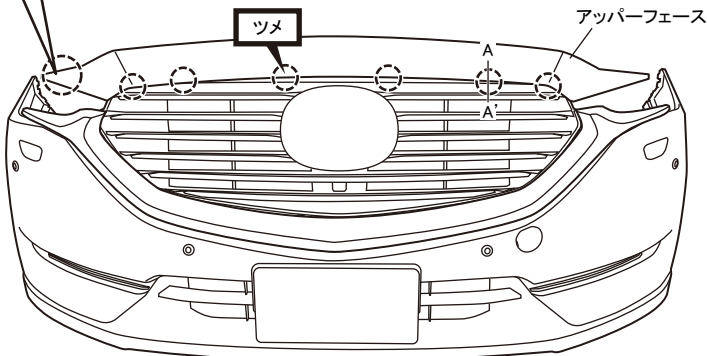
アッパーフェース上面図



純正ファスナー
※再使用

前方 ↓

4.5mmのドリル刃を使用してリベットのフランジ部を削りリベットを取外します。

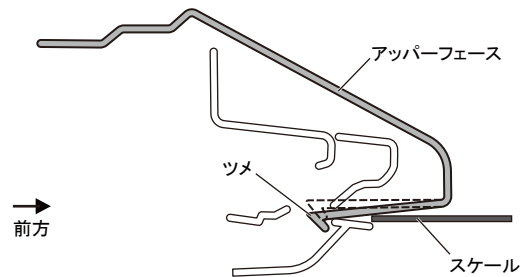


ツメ

アッパーフェース

ツメの外し方 (A-A')

○の位置にスケール等の薄くて強度のあるものを差込み、アッパーフェースのツメを押し上げて取外します。



前方 →

アッパーフェース

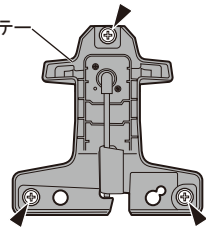
ツメ

スケール

図3 ロケーターピンブラケットとカメラステー取外し

純正ビスを取外し、カメラステーを取外します。取外した下側の純正ビス2個は再使用します。

カメラステー



純正ビスを取外し、左右のロケーターピンブラケットを取外します。取外した純正ビスは再使用します。 ※図は右側です。左右同作業

ロケーターピン
ブラケット

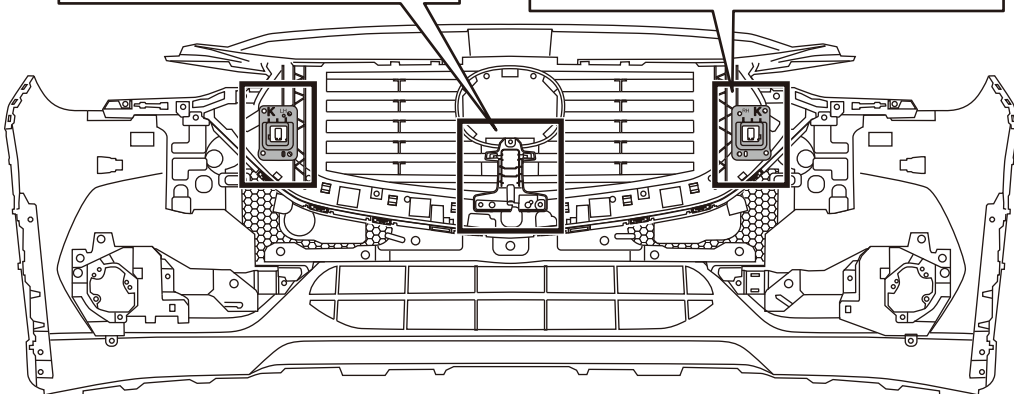
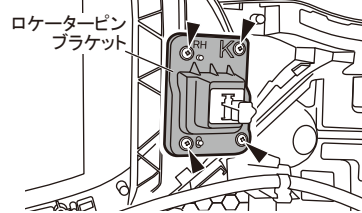


図4 ロアグリルモールディング取外し



図示の純正ビス10箇所を取外し、ロアグリルモールディングを取外します。
取外した純正ビス10個は再使用します。

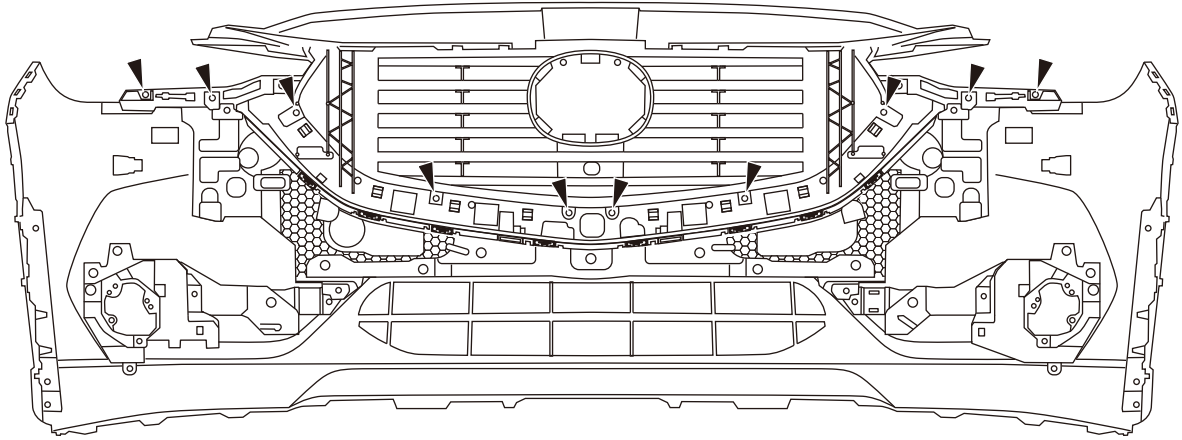


図5 純正グリルメッシュ取外し

図示の純正ビス13箇所を取外し、純正グリルメッシュを取外します。
取外した純正ビス13個は再使用します。

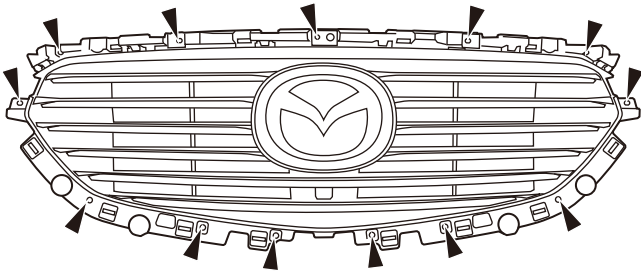


図6 ①フロントグリル取付け

図5で取外した純正ビス13個を使用し、①フロントグリルを
ラジエターグリルレインフォースメントに取付けます。

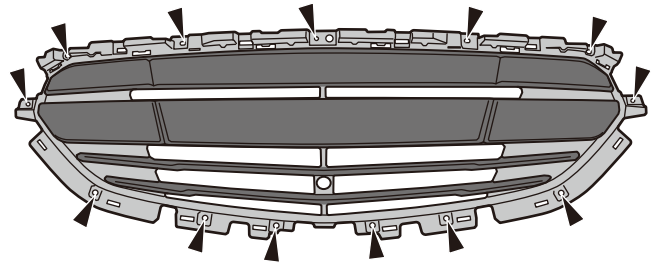
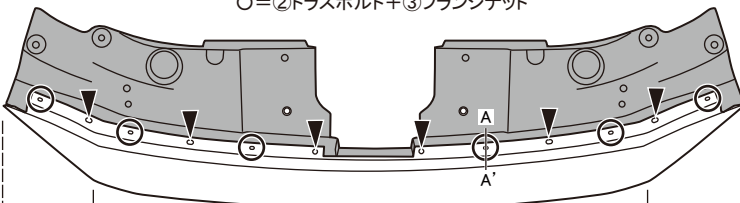


図7 ロアグリルモールディング、ロケーターピンブラケット、アッパーフェースの復元

図2で取外した純正ファスナー6個と、②トラスボルトと③フランジナットを使用し、
アッパーフェースをラジエターグリルレインフォースメントに取付けます。

▼ = 純正ファスナー
○ = ②トラスボルト + ③フランジナット



A-A' 断面図

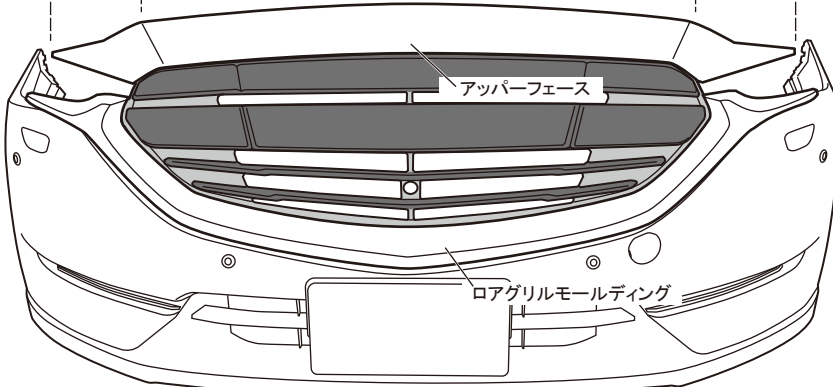
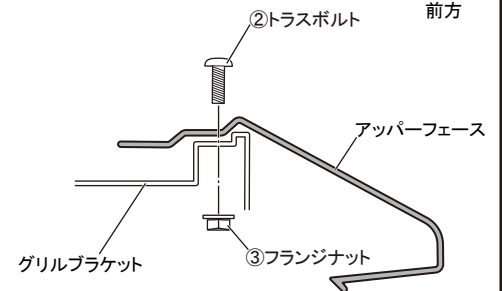


図8-1 純正カメラステー切除加工

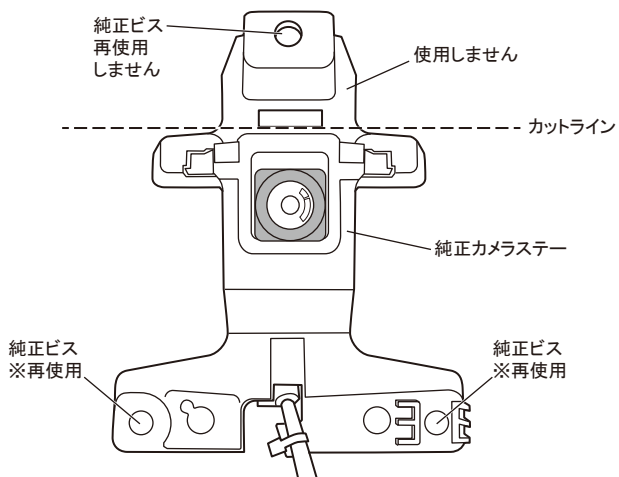


図8-2 カメラブラケット取付け

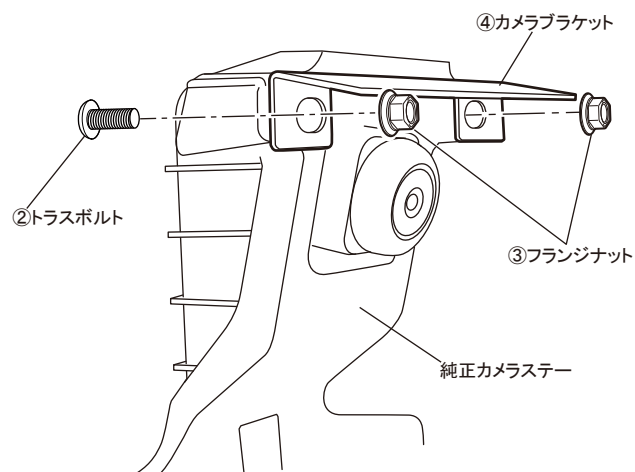


図9 カメラステー取付け

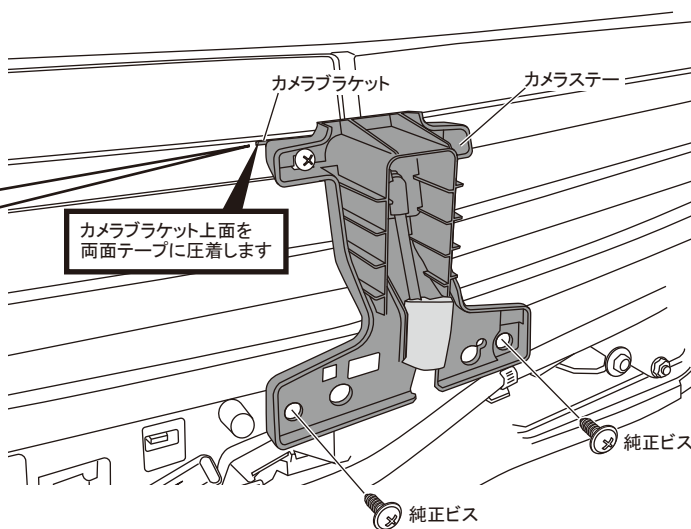
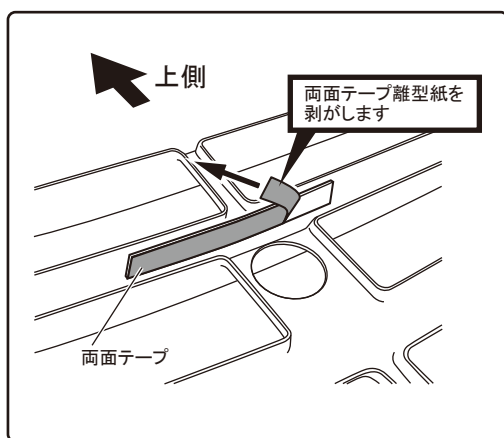


図10 フロントバンパー復元

フロントバンパーを車両に仮留めし、カメラが正常に作動することを確認してから、フロントバンパーを車両に復元して作業完了です。

